

FX NEWS PRESS

2026年
2月号

2026年2月4日発行
FXニュースプレス
(No.230)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel: 03-6861-8181

今月の注目通貨ペア (P3)

米ドル円

介入警戒感と衆議院選挙の結果に要注目

【各種掲載のご案内】

- ▶ HP内でもFX NEWS PRESSや週間のテクニカルレポートWeekly Reportsを公開！
- ▶ FXやコモディティ、株価指数の市場情報を日々更新！マーケットコメントで公開！

詳しくはホームページをご覧ください



AIゴールド証券 <https://www.aigold.co.jp>

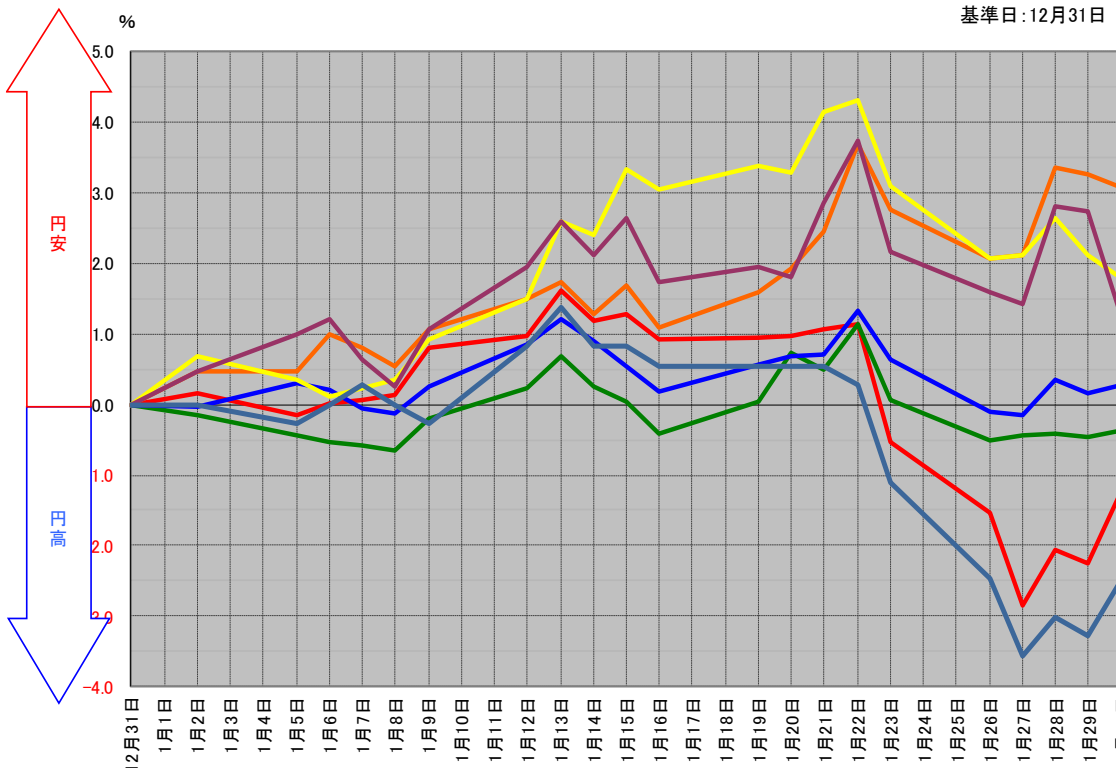
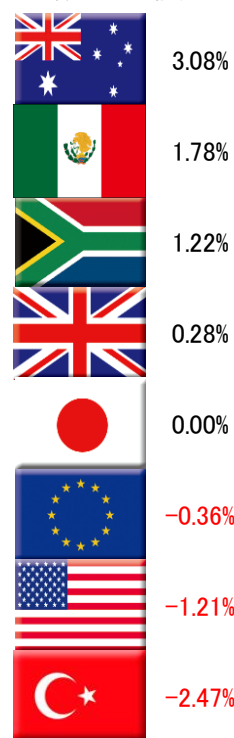
AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員

米ドル円 (基準値: 156.65) ユーロ円 (基準値: 184.11) ポンド円 (基準値: 211.15) 豪ドル円 (基準値: 104.53)
 ペソ円 (基準値: 8.7) ランド円 (基準値: 9.465) トルコ円 (基準値: 3.65)

1月30時点評価

基準日: 12月31日

順位 前月比



1月5日 ベネズエラへの大規模攻撃

トランプ米政権は南米ベネズエラを攻撃し、反米左派のマドゥロ大統領を拘束。トランプ氏は暫定大統領のロドリゲス副大統領が米国の意向に従わない場合は「再び攻撃する」と警告した。地政学リスクの高まりや日銀の利上げ観測などから円買いが優勢となり、一時156.12円と日通し安値を更新した。なお、日銀の植田和男総裁が全国銀行協会の挨拶で利上げを続ける方針を示したことが円買いを誘ったとの見方もあった。

1月8日 ドル買い優勢

商務省が発表した10月の貿易統計によると、モノとサービスを合わせた貿易収支の赤字額は、前月比39.0%減の293.5億ドルと、約16年ぶりの低水準だった。赤字幅の縮小は3カ月連続となり、市場予想も下回った。また、労働省が発表した新規失業保険申請件数は、3日までの1週間で20.8万件となり、市場予想を下回った。また、過去2カ月分の数値が下方修正されると、全般ドル売りが先行。しかし、「高市首相は23日召集予定の通常国会で衆院解散を検討」との報道が伝わると円売りが優勢となり、一時158.18円と昨年1月以来約1年ぶりの高値を更新した。

1月9日 ドル円158円台回復

米労働省が発表した12月の雇用統計は、景気動向を敏感に反映する非農業部門の就業者数は前月比5万人増と市場予想の6.0万人増を下回った。また、過去2カ月分の数値が下方修正されると、全般ドル売りが先行。しかし、「高市首相は23日召集予定の通常国会で衆院解散を検討」との報道が伝わると円売りが優勢となり、一時158.18円と昨年1月以来約1年ぶりの高値を更新した。

1月12日 衆院解散観測で円売り継続

週末9日に高市早苗首相が23日に招集が予定される通常国会の冒頭で、衆院解散を検討中との一部報道があった。衆院選により自民党が勝利すれば、高市政権による「責任ある積極財政」が加速するとの観測が引き続き円売りの流れを継続し、一時158.20円とアジア時間に付けた約1年ぶりの高値に面合わせした。また、一時は490ドル超下落したダウ平均が上げに転じたことも相場の支援材料となった。

1月13日 米消費者物価指数

朝方発表の2025年12月米消費者物価指数(CPI)は、おおむね市場予想通りでインフレの落ち着きを示唆する内容となり、米長期金利の低下とともにドル売りが優勢となったことから、一時158.60円付近まで値を下げた。その後、米セントルイス連銀のムサレム総裁が追加利下げの必要性が現状でないと指摘したため、ドル買いが優勢となり、一時159.19円と2024年7月以来約1年半ぶりの高値を更新した。

1月16日 為替介入への警戒感が強まる

片山さつき財務相は16日の閣議後の記者会見で、足元の円安進行について「私は再三、あらゆる手段を含めて断固たる措置を取ると言っている」と強調した。今週会談したベッセント米財務長官とは「最近のファンダメンタルズを反映しない動きは行き過ぎだとの認識を共有した」などと話したことから、為替介入への警戒感が一段と高まり、一時157.82円と日通し安値を更新した。

1月21日 米欧対立の懸念が後退

米国によるデンマーク自治領グリーンランドの取得を巡り、米欧間の緊張が高まるとの懸念から全般ドル売りが先行。ただ、トランプ米大統領は自身のSNSでグリーンランド領有を巡り、2月1日に欧州8カ国を対象に発効予定だった追加関税を取りやめると発表した。これを受け、米欧間の対立が激化すると懸念が後退。ダウ平均は一時800ドル超上昇し、ドル買い戻しも優勢となり、一時158.53円まで値を上げた。

1月27日 トランプ大統領のドル安容認発言

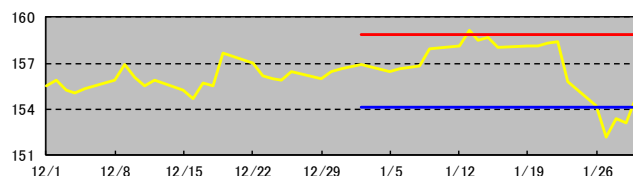
日米金融当局による協調介入への警戒感が根強い中、円買い・ドル売りが先行。その後も、1月米消費者信頼感指数や同月米リッチモンド連銀製造業指数が予想を下回ったことも相場の重しとなった。取引終盤にはトランプ大統領が「ドルが過度に下落したとは考えていない」「ドル安を懸念していない」と発言したことを受けて、全般ドル売りが活発化。6時前に一時152.10円と昨年10月29日以来の安値を付けた。

1月28日 為替介入への思惑が後退

ベッセント米財務長官は28日、CNBCテレビのインタビューで、円買い・ドル売りの為替介入を行っているかとの質問に対して「まったく」と否定し、強いドル政策を堅持していると強調した。これを受け、日米当局による協調介入を巡る市場の警戒が後退。円売り・ドル買いの流れが強まり、連邦公開市場委員会(FOMC)結果公表直後には一時154.05円まで上値を伸ばした。

ドル円

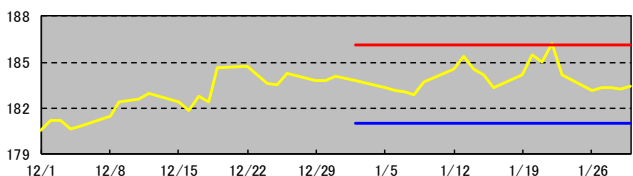
予想レンジ下限	予想レンジ上限
154.10	158.90



逆張り方針 評価【×】
コメント
一時予想レンジを下抜けた。

ユーロ円

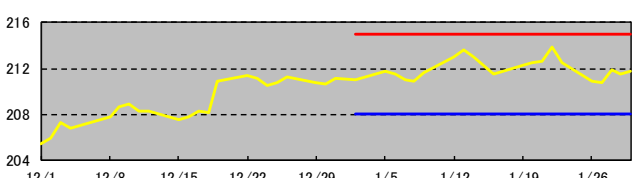
予想レンジ下限	予想レンジ上限
181.00	186.10



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

ポンド円

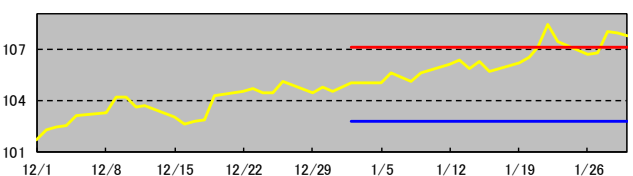
予想レンジ下限	予想レンジ上限
208.10	215.00



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

豪ドル円

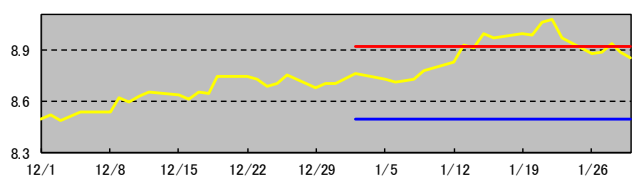
予想レンジ下限	予想レンジ上限
102.80	107.10



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを上抜けた。

ペソ円

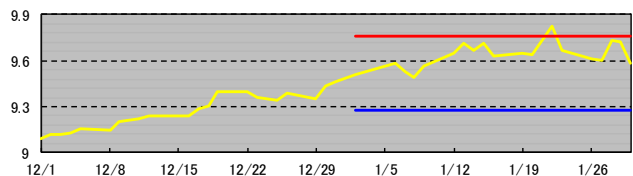
予想レンジ下限	予想レンジ上限
8.50	8.92



逆張り方針 評価【×】
コメント
一時予想レンジを上抜けた。

ランド円

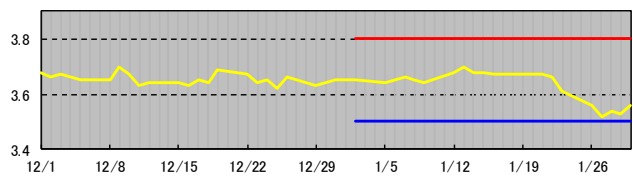
予想レンジ下限	予想レンジ上限
9.28	9.76



逆張り方針 評価【×】
コメント
一時予想レンジを上抜けた。

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
3.50	3.80



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

米ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ
↑ 158.90円
↓ 151.50円



2025年9月1日～2026年1月30日

米ドル/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、10/30安値(152.15)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日・200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。1月の値動きから導き出した計算値(158.89)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、10/29安値(151.53)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(151.50)を下抜けた場合。この場合は10/6安値(149.07)を試す展開が考えられます。

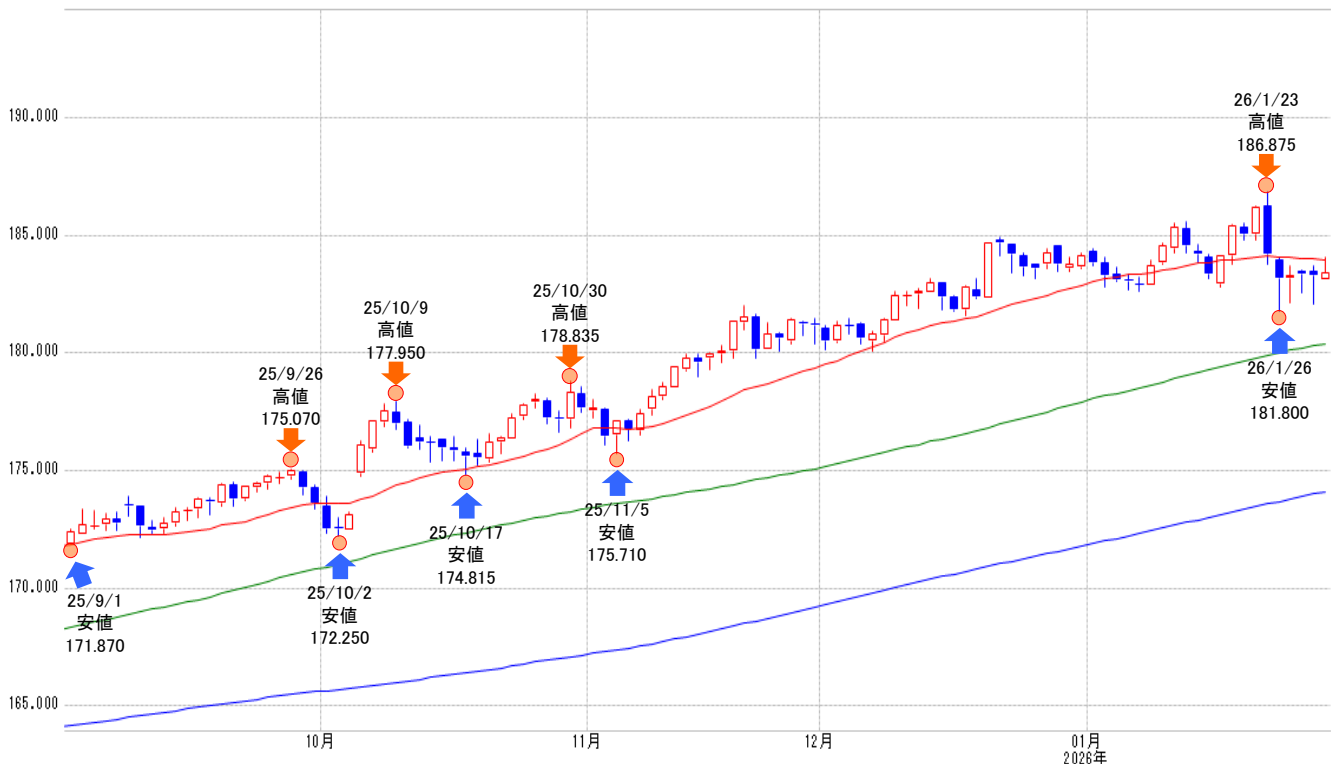
📅 今月の経済指標発表スケジュール ※予定は変更することがあります

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/2 23:45	1月製造業PMI		51.8	★★★
2/3 0:00	1月ISM製造業景気指数		47.9	★★★
2/5 0:00	1月ISM非製造業景気指数		54.4	★★★
2/6 22:30	1月失業率		4.40%	★★★
2/11 22:30	1月消費者物価指数(前年比)		2.70%	★★★
2/12 22:30	1月生産者物価指数(前年比)			★★★
2/17 22:30	1月小売売上高(前月比)			★★★
2/18 23:15	1月鉱工業生産(前月比)		0.40%	★★★
2/23 23:45	2月製造業PMI(速報値)			★★★
2/25 0:00	2月消費者信頼感指数			★★★

<相場の格言>大きな儲けの約束は**果たさない**(儲け話が大きくなるほど実現は遠のくものである。)

2025年9月1日～2026年1月30日
ユーロ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)

メイン
シナリオ 70%

実線は、節目187円が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日・200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。1月の値動きから導き出した計算値(187.18)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12/17安値(181.58)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(181.50)を下抜けた場合。この場合は11/17安値(179.27)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/2 18:00	1月製造業PMI		49.4	★★★
2/4 19:00	1月消費者物価指数(前年比)		1.90%	★★★
2/4 19:00	12月生産者物価指数(前年比)		-1.70%	★★★
2/5 19:00	12月小売売上高(前月比)		0.20%	★★★
2/5 22:15	ECB政策金利		2.15%	★★★★
2/13 19:00	第4四半期GDP(前年比)		1.30%	★★★
2/16 18:00	12月鉱工業生産(前月比)		0.70%	★★★
2/17 18:00	2月ZEW景況感調査		40.80%	★★★
2/20 18:00	2月製造業PMI(速報値)			★★★
2/20 18:00	2月サービス業PM(速報値)			★★★

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

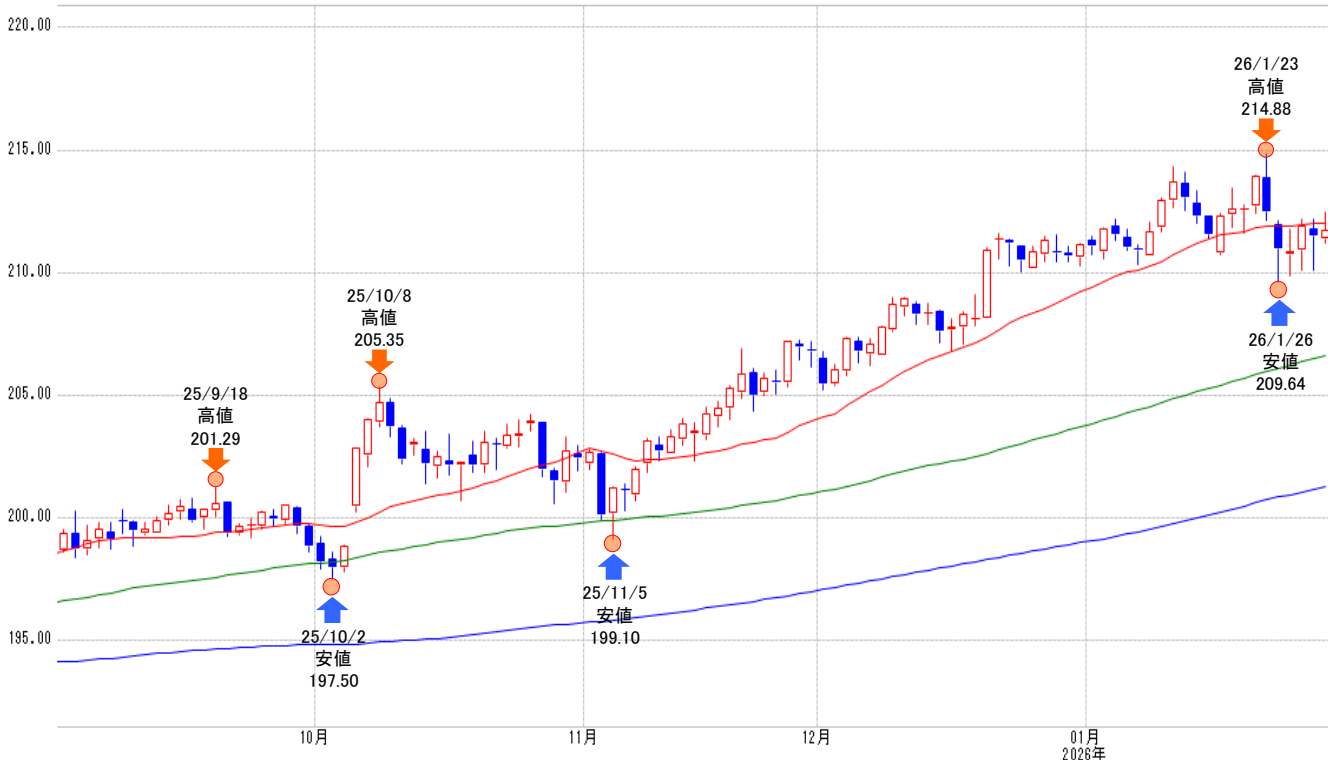
ポンド/円 【逆張り方針】

予想レンジ
↑ 217.00円
↓ 211.20円



2025年9月1日～2026年1月30日
ポンド/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、節目215円が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。しかし21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。1月の値動きから導き出した計算値(216.98)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、1/30安値(211.21)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(211.20)を下抜けた場合。この場合は12/10高値(208.97)を試す展開が考えられます。

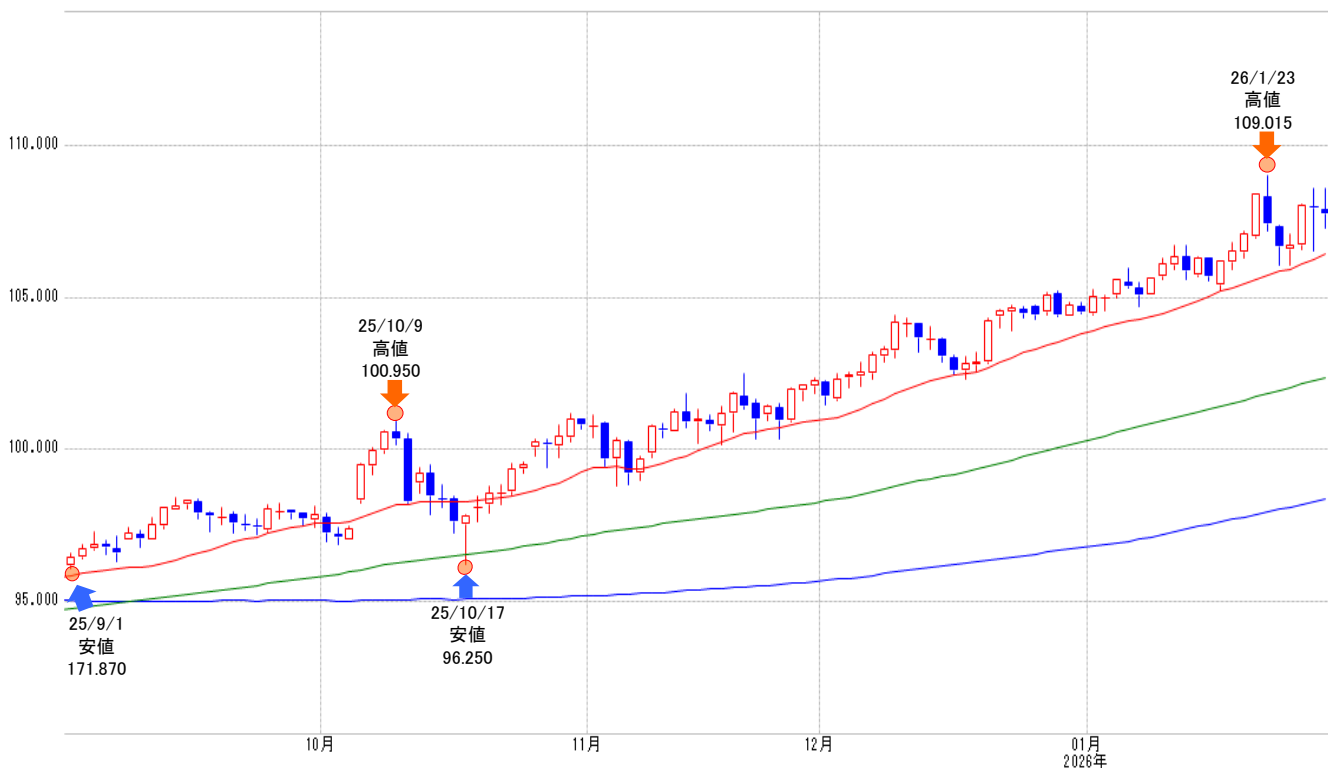
📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/2 18:30	1月製造業PMI		51.6	★★★
2/5 18:30	1月建設業PMI		40.10%	★★★
2/5 21:00	英中銀政策金利		3.75%	★★★★
2/12 16:00	第4四半期GDP(前年比)		1.3%	★★★
2/17 16:00	1月失業率		4.40%	★★★
2/18 16:00	1小売物価指数(前年比)		4.2%	★★★
2/18 16:00	1月消費者物価指数(前年比)		3.4%	★★★
2/20 16:00	1月小売売上高(前年比)		2.5%	★★★
2/20 18:30	2月製造業PMI			★★★

＜相場の格言＞群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)

2025年9月1日～2026年1月30日
豪ドル/円 【日足】

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)

メイン
シナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。1月の値動きから導き出した計算値(111.66)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、1/29安値(106.53)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(106.50)を下抜けた場合。この場合は1/8安値(104.71)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/3 9:30	12月住宅建設許可件数(前月比)		15.2%	★★
2/3 12:30	豪中銀政策金利		3.6%	★★★
2/5 9:30	12月貿易収支		29.36億AUD	★★
2/10 8:30	2月消費者信頼感指数		92.9	★★
2/19 9:30	1月正規雇用者数(前月比)		6.52万人	★★
2/19 9:30	1月失業率		4.30%	★★
2/25 9:30	1月消費者物価指数(前年比)		3.80%	★★
2/26 9:30	第4期四半期民間設備投資(前期比)		6.40%	★★

<相場の格言>後悔に二つあり(利食いが早すぎた後悔は笑って済ませよ。利がはげてしまった後悔はやるせない。)

メキシコペソ/円 【逆張り方針】

予想レンジ



9.300円

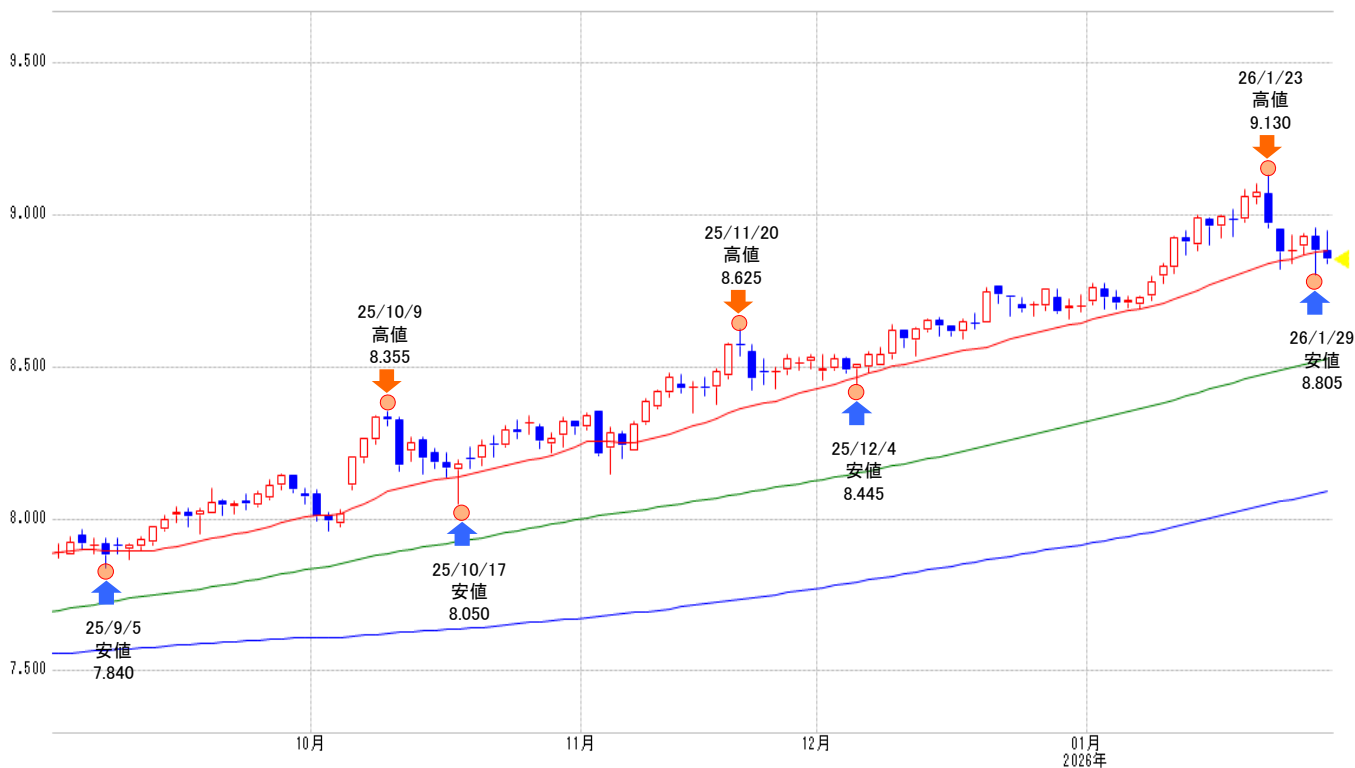
8.770円



2025年9月1日～2026年1月30日

メキシコ/円 【日足】

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、節目9.1円が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。しかし21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。1月の値動きから導き出した計算値(9.300)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、1/12安値(8.775)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(8.770)を下抜けた場合。この場合は12/17安値(8.595)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/4 0:00	1月 製造業PMI		46.1	★★
2/6 4:00	メキシコ中銀政策金利		7.00%	★★★★
2/9 21:00	1月 消費者物価指数(前年比)		3.69%	★★
2/11 21:00	12月 鉱工業生産(前月比)		0.60%	★★
2/23 21:00	第4四半期GDP(前年比)		1.60%	★★
2/26 21:00	1月 失業率		2.39%	★★
2/27 21:00	1月 貿易収支		24.3億USD	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ランド/円【逆張り方針】

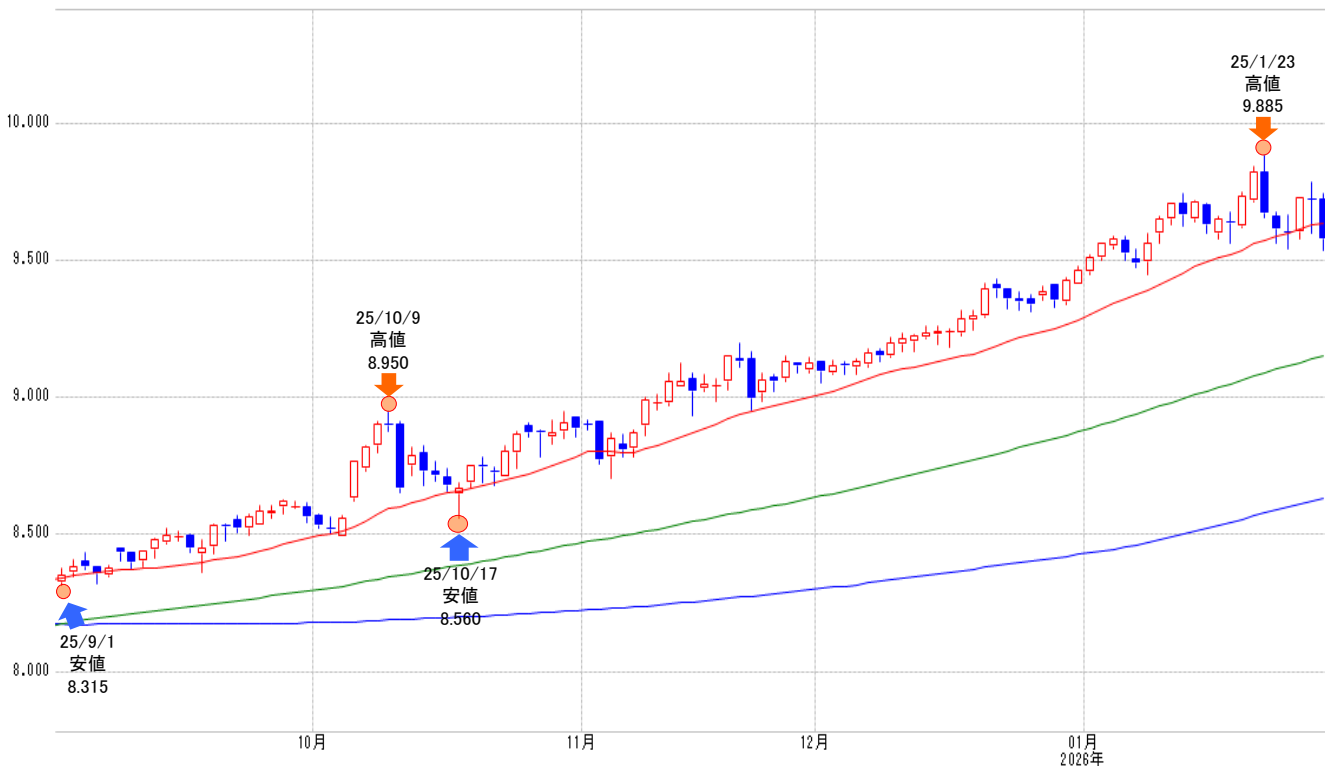
予想レンジ
↑ 10.020円
↓ 9.460円



2025年9月1日～2026年1月30日

ランド/円【日足】

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、15/8/7高値(9.875)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。しかし21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。15/7/23高値(10.015)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、1月の値動きから導き出した計算値(9.460)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(9.460)を下抜けた場合。この場合は12/19安値(9.290)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
2/6 22:30	カナダ	1月失業率		6.80%	★★
2/16 8:50	日本	第4四半期GDP(前年比)		-2.30%	★★
2/16 22:30	カナダ	1月消費者物価指数(前年比)		2.40%	★★
2/17 18:30	南ア	第4四半期失業率		31.90%	★★
2/18 17:00	南ア	1月消費者物価指数(前年比)		3.60%	★★
2/20 8:30	日本	1月消費者物価指数(前年比)		2.10%	★★
2/26 22:30	カナダ	第4四半期経常収支		-96.8億カナダドル	★★
2/27 21:00	南ア	1月貿易収支		232億ランド	★★
2/27 22:30	カナダ	第4四半期GDP(前年比)		2.60%	★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)

トルコ/円 【逆張り方針】

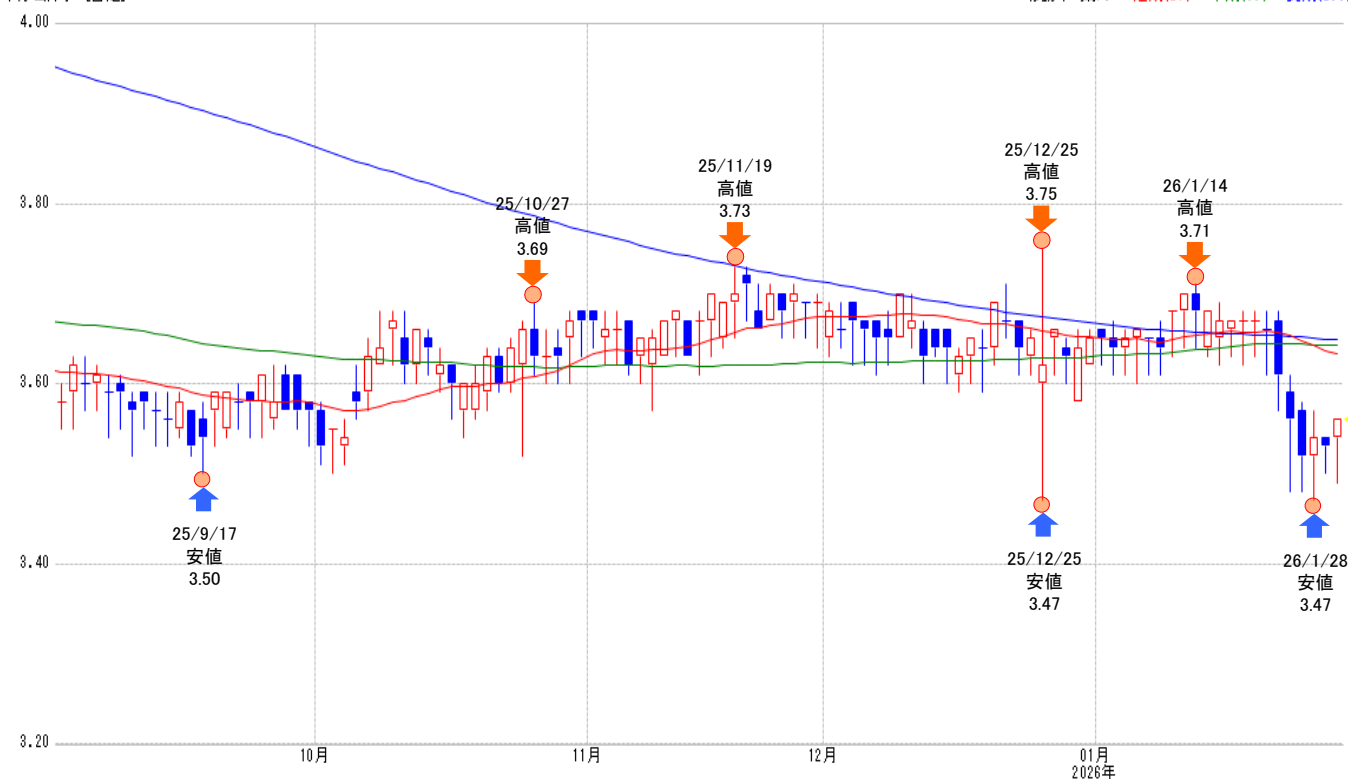
予想レンジ ↑ 3.70円
↓ 3.40円



2025年9月1日～2026年1月30日

トルコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、節目3.7円が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。1/16高値(3.69)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、1月の値動きから導き出した計算値(3.43)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(3.40)を下抜けた場合。この場合は1月の値動きから導き出した計算値の下限(3.33)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/2 16:00	1月製造業PMI		48.09	★★
2/3 16:00	12月消費者物価指数(前年比)		30.89%	★★
2/10 16:00	12月鉱工業生産(前月比)		2.50%	★★
2/13 16:00	12月経常収支		-40.0億USD	★★
2/26 16:00	1月貿易収支		-93.0億USD	★★
2/27 16:00	1月失業率		7.70%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

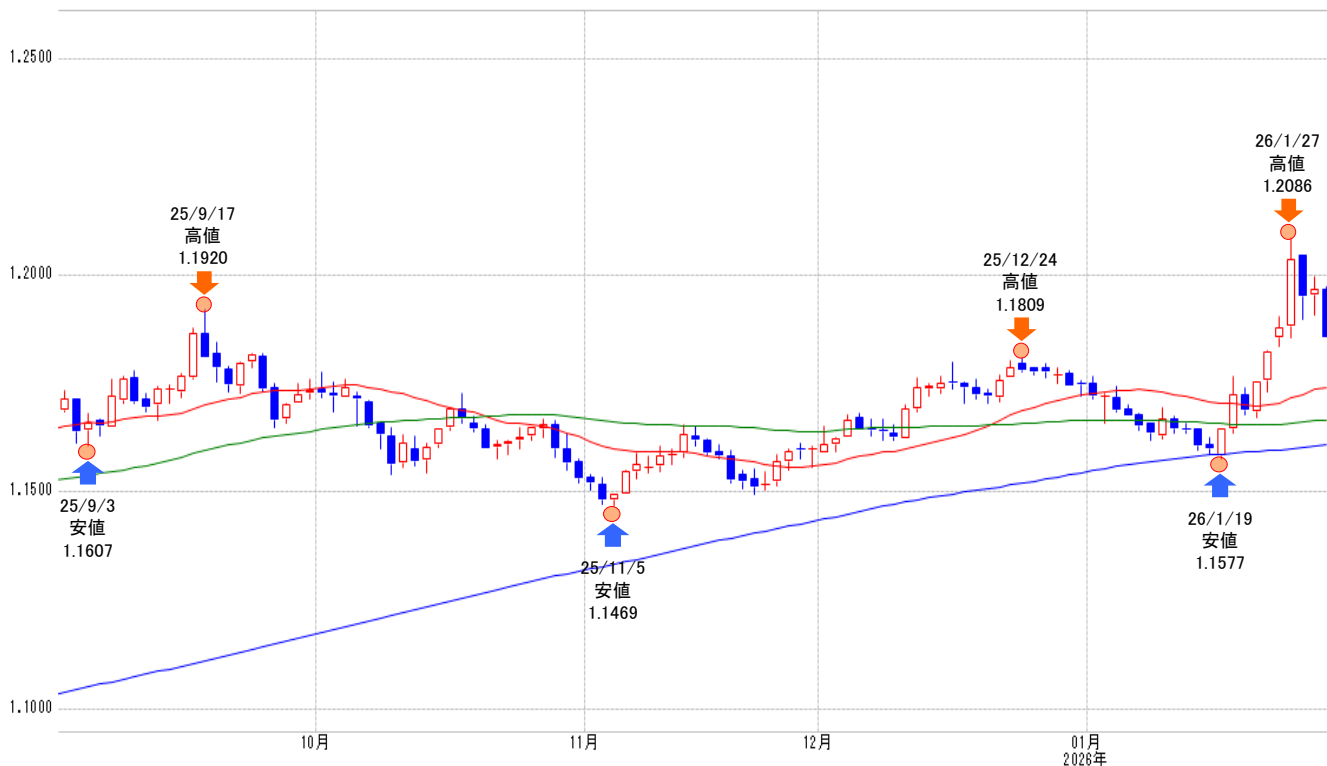
ユーロ/米ドル 【逆張り方針】

予想レンジ
↑ 1.2150
↓ 1.1630



2025年9月1日～2026年1月30日
ユーロ/米ドル 【日足】

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、長期のトレンドを示す200日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。1月の値動きから導き出した計算値(1.2148)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、1/20安値(1.1635)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(1.1630)を下抜けた場合。この場合は11/5安値(1.1469)を試す展開が考えられます。

📊 スワップポイント実績表（月別合計/1枚あたり）

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	メキシコ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
25年	2月	4,893円	3,073円	6,297円	2,842円	5,139円	4,253円	928円	-13.64ドル
	3月	4,886円	2,923円	6,488円	2,672円	5,106円	4,228円	947円	-16.15ドル
	4月	5,560円	3,164円	7,487円	3,091円	5,661円	4,353円	1,129円	-20.55ドル
	5月	4,574円	2,402円	5,902円	2,534円	4,934円	3,823円	840円	-20.84ドル
	6月	4,701円	2,334円	6,171円	2,574円	4,529円	4,087円	936円	-21.73ドル
	7月	5,386円	2,578円	7,049円	3,083円	5,228円	4,771円	1,030円	-25.78ドル
	8月	4,725円	2,234円	5,773円	2,421円	4,668円	4,013円	823円	-22.61ドル
	9月	4,871円	2,351円	6,036円	2,588円	4,788円	3,995円	767円	-23.14ドル
	10月	5,336円	2,642円	6,841円	2,882円	5,318円	4,681円	779円	-24.19ドル
	11月	4,444円	2,349円	5,882円	2,480円	4,510円	4,210円	721円	-18.25ドル
	12月	5,538円	3,256円	7,578円	3,312円	4,897円	4,384円	879円	-21.36ドル
26年	1月	3,906円	2,101円	5,362円	2,412円	3,976円	4,075円	761円	-16.47ドル
	計	58,820円	31,407円	76,866円	32,891円	58,754円	50,873円	10,540円	-244.71ドル

＜相場の格言＞総強気は売れ、総弱気は買い（つきつめていけば、相場とはそういうものである。）



AI ゴールド証券

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:AIゴールド証券1枚あたり片道0円。媒介口座1枚あたり片道220円(税込)。媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり1,470円～85,120円(2026年2月2日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員